

説教 「メモリアル・ワーシップ」 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2020年9月13日（日）

主 題：「希望ある人生へ」  
—生きる人—

テキスト：ヨハネの福音書11章17—27節

### はじめに

- ・今日は、私たちの教会の年一度の「メモリアル・ワーシップ」です。  
一足、先に召された私たちの家族を偲ぶ大切な礼拝であります。
- ・さて、世界は今、めまぐるしい速度で動き進んでいます。想像を超える速度で動いています。そしてやがて、人は誰でも「死」を迎えるのです。「死」は、100%の確率で誰にでもやってきます。それを避けることができる人は、だれもいません。
- ・私たちは、誰も避けられない「死」をどのように迎えるでしょうか。  
私の知っているあるキリスト教伝道者は、病気の子どもたちに伝道していました。そして、こんなエピソードを聞かせてくれました。
  - ① 24ヶ月間、脳腫瘍を患い召された子：  
「お兄ちゃん、ぼく痛い。でもイエス様のいる天国に行けるから嬉しいな」
  - ② 12歳の女兒：  
「お父さん、お母さん。言っておきたいことがあるの。イエス様が死んでよみがえり、天国へも道を開いてくださったので、私も天国へ行けるの。お父さん、お母さんより先に行くのを許してね。」と微笑み、目を閉じました。
  - ③ 11歳の男児：  
「おとうさんたち、どうして泣いているの。ぼくイエス様のいる天国へ行くんじゃない。泣かないで。イエス様を信じて天国へ来てね。」と言い、右手でバイバイしながら永遠の眠りにつきました。
- ・これらの子どもたちの最後は、なんと希望に満ちていたことでしょうか。  
3人の子どもの共通項は、イエス・キリスト様を信じていたことでした。  
子どもたちは、死の川の向こうに「希望」があることを教えています。
- ・イエス・キリストの言葉：  
11:25 イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。ヨハネ  
今日、私はイエス様が語られた希望について語りたいと思います。

### 大切なポイント

#### 1. わたしはよみがえりです

- ・イエス様の生涯はわずか30数年でした。その内、公生涯はわずか3年少々でした。その間、イエス様は各地で説教し、貧しい人に食物を与え、病人を癒し、不思議なわざを行い、ある時は死人を復活させられました。そして、最後は時の指導者によって捕らえられ、十字架にかけられ極刑の十字架刑で処刑されました。

- ・しかし、イエス様は「**わたしはよみがりで**す」と言われました。  
すなわち、「死」を打ち破ると言われました。この言葉は、神以外は言えません。確かにイエス様は墓から復活し、多数の人々の前に姿を現されました。
- ・その詳細については、1コリント人への手紙15章に書かれています（お読みください）。この書簡は、イエス様の復活後約25年後に書かれたものです。  
当時はまだ、生き証人たちがいました。この書簡が事実でないとするれば、破ることができたでしょう。しかし、死人の復活を信じられないと言った人たちは多くいました。それは⇒現代にまでつづいています。
- ・イエス様が復活されたか否かは、真実か虚偽かどちらからです。
  - ① 偽りの証言をしてはいけない、と説く聖書が偽りを教えるのでしょうか。
  - ② 教会、牧師、宣教師が今の時代まで存続している事実は何を意味しますか。
  - ③ イエス様の復活に出会った人たちは、人生が変えられ、勇気、励まし、希望を与えてきたことは何を意味するのでしょうか。
  - ④ もし聖書が虚偽を語っているならば、なぜ聖書は焼却されないのでしょうか。そして、なぜベストセラーとして、何百年と読まれ続けられているのでしょうか。
- ・皆さん。どうぞお考えください。  
イエス様のことば：『**わたしはよみがりで**す』

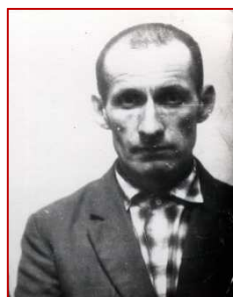
## 2. わたしはいのちです

- ・「いのち」は生きる源です。いのちが枯れると死を迎えます。人はすべて、いつの日か、死を迎えます。
- ・では、なぜ人は死を迎えるのでしょうか？聖書は次のように語ります。  
**6:23 罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。ローマ**
- ・聖書は、人は創造神の前に罪を犯していると述べています。  
どんな親でも、罪を犯す方法を教える人はいません。しかし、子どもは罪を犯します。それは生まれながら、罪を犯す性質を持ち合わせているのです。
- ・聖書の罪とは、⇒「的はずれ」という意味です。  
神から離れてしまった（的はずれ）。その結果、人は迷い、苦難を味わい、人生の目標がわからなくなりました。イエス様は「**わたしはいのちです**」、と言われました。聖書は次のように述べています。
- ・**11:25 イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。**  
それは、枯れることのない「いのち」です。皆さん。「死」は終わりではありません。

## 3. わたしを信じる者は、死んでも生きるのです

⇒ ここに神を信じる者の「希望」があります。

- ・人生は苦しみ、悲しみばかりではありません。光、希望  
『例話』 David Klassen 世界巡回伝道師



があります。

- David Klassen 世界巡回伝道師は、私の人生に大きな影響を与えてくれた人の1人です。彼は旧ロシア出身ドイツ系ロシア人で、なんと27年間もシベリアの強制労働収容所に送られた人です。その彼は神の不思議な導きで、ドイツへ出て来られました。 <

### 収容所時代>

- 彼は死の直前に、私に次のような手紙を送ってくれました。

\*\*\*\*\*

- 私は、神の恵みと多くの方々の祈りに支えられていることを感謝しています。医者診断によれば、私は2週間で墓地へ運ばれ土の中に埋葬されるはずでした。
- しかし、それからすでに10ヶ月が経過しました。「ご覧ください！私は今も生きています。」私は、全身206箇所にあたる骨の悪性骨髄ガンに犯されています。しかし、まったく痛みはありません。これは、ただ神の恵みにすぎません。私は病院から車椅子をもらっていますが、1メートルも乗っていません。これこそ神の奇跡ではないでしょうか。

- 詩篇の作者は、「私は多くの人にとっては奇跡と思われました。あなたが、私の力強い避け所だからです。」(詩篇71:7)と語りましたが、まさしく私もこのように歌います。私は勿論、いつでも死に対し備えをしていなければならないことを知っています。しかし、聖書は「御子を持つ者は永遠の命を持つ」と語っています。私の今の心境は、詩篇23:4のようです。「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れませんが、あなたが、私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。」私はなんと幸いな者でしょう。

- ところで、多くのお見舞い客が私を訪ねて来ています。アフリカ、米国、カナダ、ロシア、ウクライナ、カザフスタン、そして欧州のいろいろな国からです。また遠く北極圏に近いシベリヤで、犬ゾリに乗っている兄弟から国際電話をもらいました。
- またキエフのメシアニック・ジューから、ハンブルクのジプシー教会から、終身刑を受け刑務所に入っているクリスチャン囚人から、また多くの子どもグループや老人会からも電話をいただいています。私は本当に慰めをいただいています。しかし、私はあなたの執り成しの祈りも必要とする者です。

- 私は自分の生涯で実に多くのことを見て、そして経験させていただきました。主は私の地上の生活を伸ばされています。私は、私の葬儀のために「茨(いばら)の冠」を自分で作りました。私はすでに、「私の棺と墓石にはお花は置かないで欲しい。そのお花代は、すべてロシアの貧しい孤児たちに届けてください。」と遺書に書きました。

- 私にとって遠い日本は、なつかしき一杯の国です。私の部屋には、日本に伝道に伺った時にいただいたお土産があります。日本で私を美しいお花で歓迎してくれたあの兄弟姉妹、東京の聾啞者教会の兄弟姉妹、雪深い札幌の持って私を迎えてくださったあの兄弟姉妹、みな懐かしです。ほんとうにありがとうございます。ここで手紙を奥様と教会の兄弟姉妹に宜しくお伝えください。再会で・・・神があなたと共にいてくださいますように。



寒い中で、お花を  
い思い出ばかり  
終えます。どうぞ  
きるその日ま

<ドイツへ出国後

主にあって  
 ダビデ・クラッセン

\*\*\*\*\*

- ・彼には希望がありました。彼にとって、死は恐怖ではなく、出発点でした。天の御国に入るといふ出発でした。皆さんは、いかがでしょうか・・・？ イエス様は言われました。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。」

#### ま と め

テーマ：「希望ある人生へ」

—生きる人—

- ・あなたも是非、一度しかない人生、「希望ある人生へ」—生きる人—となってください。最後に次のみことばを、もう一度お読みします。

- ・イエスは彼女に言われた。

「わたしはよみがえりです。いのちです。

わたしを信じる者は死んでも生きるのです。」 ヨハネ 11:25

\*God bless you !